

## 1 サポートされているトリガー関数

トリガー条件式の中でサポートされているすべての関数を、次に示します：

▼	関数	パラメータ	サポートされている値のデータ型
	説明		
	<b>abschange</b>	無視	浮動小数、整数、文字列、テキスト、ログ
	直近とその1つ前の値の差を、絶対値で返します。 文字列の場合は、以下の値を返します： 0 - 値が等しい 1 - 値が異なる		
	<b>avg</b>	秒数または回数	浮動小数、整数
	期間の平均値。最初のパラメータで期間を秒単位で設定するか、収集した値の数（ハッシュマーク#を先頭につけます。例えば#5 - 直近5回）で設定します。\\関数は2番目の省略可能なパラメータ <b>time_shift</b> を使用できます。現在の平均値と、 <b>time_shift</b> 秒遡った平均値を比較する必要がある場合に便利です。たとえば[]avg(3600,86400)は1日前の1時間の平均値を返します。パラメータ <b>time_shift</b> はZabbix 1.8.2以降でサポートされています。		
	<b>change</b>	無視	浮動小数、整数、文字列、テキスト、ログ
	最新値と前回値の差を返します。 文字列の場合は、以下の値を返します： 0 - 値が等しい 1 - 値が異なる		
	<b>count</b>	秒数または回数	浮動小数、整数、文字列、テキスト、ログ

▼	関数	パラメータ	サポートされている値のデータ型
説明			
<p>期間内に収集された値の数。最初のパラメータで期間を秒単位で設定するか、収集した値の数（ハッシュマーク#を先頭につけます。）で設定します。</p> <p>関数は、2番目の省略可能なパラメータ <b>pattern</b>、3番目のパラメータ <b>operation</b>、4番目のパラメータ <b>time_shift</b> を利用できます。</p> <p><b>pattern</b> 整数アイテム - 正確に一致；浮動小数：値が±0.00001の許容範囲内であれば一致 \\ サポートされている演算子 *:</p> <p><b>eq</b> - 等しい  <b>ne</b> - 等しくない  <b>gt</b> - より大きい  <b>ge</b> - 以上  <b>lt</b> - 未満  <b>le</b> - 以下</p> <p><b>like</b> (テキスト検索のみ) - 値にパターンが含まれれば一致とみなします。</p> <p>*整数アイテムと浮動小数アイテム：演算子 <b>eq</b> (デフォルト)、<b>ne</b> <b>gt</b> <b>ge</b> <b>lt</b> <b>le</b> がサポートされています。</p> <p>*文字列アイテム、テキストアイテム、ログアイテム： <b>like</b> (デフォルト)、<b>eq</b> <b>ne</b> がサポートされています。</p> <p>例</p> <p><b>count(600)</b> - 直近600秒の間に履歴に保存されている値の数</p> <p><b>count(600,12)</b> - 履歴に保存されている値のうち「12」の出現回数を返します。</p> <p><b>count(600,12,"gt")</b> - 直近600秒の間に履歴に保存されている値のうち「12」よりも大きい値の正確な出現回数を返します。</p> <p><b>count(#10,12,"gt")</b> - 直近10個の値のうち「12」よりも大きい値の正確な出現回数を返します。</p> <p><b>count(600,12,"gt",86400)</b> - 24時間前に履歴に保存されている直近10個の値のうち「12」よりも大きい値の正確な出現回数を返します。</p> <p><b>count(600,,,86400)</b> - 24時間前の直近600秒の値の数を返します。</p> <p><b>#num</b> パラメータと文字列の演算子は、Zabbix 1.8.2以降でサポートされています。</p> <p><b>time_shift</b> パラメータと文字列の演算子は、Zabbix 1.8.2以降でサポートされています \\ <b>time_shift</b> の使用例については <b>avg()</b> 関数を参照してください。</p>			
<b>date</b>	無視	すべて	
<p>現在日付をYYYYMMDD形式で返します。</p> <p>例: 20031025</p>			
<b>dayofmonth</b>	無視	すべて	
<p>1~31日までの日付を返します。</p> <p>この機能はZabbix 1.8.5からサポートされています。</p>			
<b>dayofweek</b>	無視	すべて	
<p>曜日を1（月曜日）から7（日曜日）までの範囲で返します。月曜 - 1、日曜 - 7。</p>			
<b>delta</b>	秒数または回数	浮動小数、整数	
<p>期間内の最大値と最小値の差分を返します ( <b>max()-min()</b> と同じ値) 最初のパラメータで期間を秒単位で設定するか、収集した値の数（ハッシュマーク#を先頭につけます）で設定します。</p> <p>Zabbix 1.8.2以降では、2番目の省略可能なパラメータ <b>time_shift</b> がサポートされています。使用例については関数 <b>avg ()</b> を参照してください。</p>			
<b>diff</b>	無視	浮動小数、整数、文字列、テキスト、ログ	
<p>以下の値を返します:</p> <p>1 - 最新値と前回値が異なる</p> <p>0 - それ以外</p>			

▼	関数	パラメータ	サポートされている値のデータ型
説明			
<b>fuzzytime</b>	<b>sec</b>		浮動小数、整数
	タイムスタンプ（アイテムの値）とZabbixサーバ時刻の差が N 秒以内なら1、それ以外なら0を返します。 通常は <code>system.localtime</code> と組み合わせて、ローカル時刻とZabbixサーバのローカル時刻が同期しているかどうかをチェックします。		
<b>iregexp</b>	1番目 - 文字列、2番目 - 秒数または回数		文字列、ログ、テキスト
	この関数は <b>regexp</b> に類似していますが、大文字と小文字は区別されません。		
<b>last</b>	秒数または回数		浮動小数、整数、文字列、ログ、テキスト
	最新値を返します。以下のパラメータを使用します： 秒数 - 無視 #回数 - N番目の値 ここでの <b>#回数</b> は、他の関数とは違った働きをすることを覚えておいてください。 例えば： <code>last(0)</code> 常に <code>last(#1)</code> と等しい <code>last(#3)</code> - 3番目に新しい値（3つの新しい値ではありません） また、関数は2番目の省略可能なパラメータ <b>time_shift</b> を受け入れます。例えば： <code>last(0,86400)</code> は1日前の直近の値を返します。 ヒストリの1秒以内に2つ以上の値が存在する場合、値の正確な順序は保証されません。\\パラメータ #回数 は、Zabbix 1.6.2 以降でサポートされています。 パラメータ <code>time_shift</code> は、Zabbix 1.8.2 以降でサポートされています。 使用例については関数 <code>avg()</code> を参照してください。		
<b>logeventid</b>	文字列		ログ
	最新のログのエントリのイベントIDが、指定した正規表現に一致するかどうかをチェックします。 パラメータで <b>POSIX形式</b> の正規表現を定義します。 以下の値を返します： 0 - 一致しない 1 - 一致する この関数は、Zabbix 1.8.5 以降でサポートされています。		
<b>logseverity</b>	無視		log
	最終ログエントリの深刻度を返します。パラメータは無視されます。 0 - デフォルトの深刻度 N - 深刻度（整数）Windows イベントログの場合に有効 Zabbix は Windows イベントログのフィールド情報からログの深刻度を取得します。		
<b>logsource</b>	文字列		ログ
	最終ログエントリの「ソース」がパラメータと一致するかどうかをチェックします。 0 - 一致しない 1 - 一致する 通常は、Windows イベントログのチェックに使用します。例: <code>logsource("VMWare Server")</code>		
<b>max</b>	秒数または回数		浮動小数、整数
	期間内の最大値を返します。最初のパラメータで期間を秒単位で設定するか、収集した値の数（ハッシュマーク # を先頭につけます）で設定します。 Zabbix 1.8.2 以降では、2番目の省略可能なパラメータ <code>time_shift</code> がサポートされています。使用例については関数 <code>avg()</code> を参照してください。		
<b>min</b>	秒数または回数		浮動小数、整数

▼	関数	パラメータ	サポートされている値のデータ型
	説明		
	<p>期間内の最小値を返します。最初のパラメータで期間を秒単位で設定するか、収集した値の数（ハッシュマーク#を先頭につけます）で設定します。</p> <p>Zabbix 1.8.2以降では、2番目の省略可能なパラメータ <code>time_shift</code> がサポートされています。使用例については関数 <code>avg()</code> を参照してください。</p>		
<b>nodata</b>	秒数	すべて	
	<p>以下の値を返します:</p> <p>1 - 期間内（秒単位）にデータを1つも受信しない場合。期間として30秒以上の値を指定する必要があります。</p> <p>0 - それ以外</p>		
<b>now</b>	無視	すべて	
	エポック（1970年1月1日00時00分00秒UTC）を起点とした経過秒数を返します。		
<b>prev</b>	無視	浮動小数、整数、文字列、テキスト、ログ	
	<p>前回値を返します。パラメータは無視されます。</p> <p><code>last(#2)</code>と同じ</p>		
<b>regex</b>	1番目 - 文字列, 2番目 - 秒数または#回数	文字列、ログ、テキスト	
	<p>最新値が正規表現と一致するかどうかをチェックします。パラメータには <a href="#">POSIX形式</a> の正規表現を指定します。</p> <p>省略可能な2番目のパラメータでは、分析する秒数または行数を指定します。この場合、複数の値が処理されます。</p> <p>この関数では大文字と小文字は区別されます。</p> <p>以下の値を返します:</p> <p>1 - 見つかった</p> <p>0 - それ以外</p>		
<b>str</b>	1番目 - 文字列, 2番目 - 秒数または#回数	文字列、ログ、テキスト	
	<p>最新値で文字列を検索します。パラメータには検索する文字列を指定します。大文字と小文字は区別されます。</p> <p>省略可能な2番目のパラメータでは、分析する秒数または行数を指定します。この場合、複数の値が処理されます。</p> <p>以下の値を返します:</p> <p>1 - 見つかった</p> <p>0 - それ以外</p>		
<b>strlen</b>	秒数または回数	文字列、ログ、テキスト	
	<p>最新の値の長さを文字数で返します。（バイト数ではありません）</p> <p>パラメータは <code>last</code> 関数と同じように機能します。（この表の上の方を参照してください）</p> <p>例:</p> <p><code>strlen(0) - strlen(#1)</code> と同じです。</p> <p><code>strlen(#3)</code> - 直近3番目の値の長さ</p> <p><code>strlen(0,86400)</code> - 1日前の直近の値の長さ</p> <p>この関数は、Zabbix 1.8.4以降でサポートされています。</p>		
<b>sum</b>	秒数または回数	浮動小数、整数	
	<p>期間内の値の合計値を返します。最初のパラメータで期間を秒単位で設定するか、収集した値の数（ハッシュマーク#を先頭につけます）で設定します。</p> <p>Zabbix 1.8.2以降では、2番目の省略可能なパラメータ <code>time_shift</code> がサポートされています。使用例については関数 <code>avg()</code> を参照してください。</p>		

▼	関数	パラメータ	サポートされている値のデータ型
	説明		
<b>time</b>		無視	すべて
	現在の時刻をHHMMSS形式で返します。例: 123055		

- 1) すべての関数は、数値型の値のみを返します。例えば、文字列との比較はサポートされていません。
- 2) いくつかの関数は非数値型のパラメータでは使用できません。
- 3) 文字列の変数は二重引用符で囲みます。そうしないと、誤って解釈される可能性があります。

本ページは2013/06/02時点の原文を基にしておりますので、内容は必ずしも最新のものと限りません。最新の情報 は 右上の「Translations of this page」から英語版を参照してください。

From:

<https://www.zabbix.com/documentation/2.0/> - **Zabbix Documentation 2.0**

Permanent link:

<https://www.zabbix.com/documentation/2.0/jp/manual/appendix/triggers/functions>

Last update: **2014/09/25 14:44**

